

富田林市新たな総合ビジョンの策定に向けた 市民ワークショップ結果報告書

平成 28 年 9 月

富田林市

目 次

I 実施概要	1
1. 実施目的	1
2. 実施方法	1
3. 実施内容	1
II 実施結果	2
1. 富田林市の魅力・課題.....	2
(1) 検討・整理のプロセス.....	2
(2) 主な意見	2
(3) 魅力・課題の総括.....	6
2. 未来に向けた取組みアイデア.....	7
(1) 検討・整理のプロセス.....	7
(2) 取組みの方向性とアイデア.....	8
(3) 未来に向けた取組みアイデアの総括.....	16

I 実施概要

1. 実施目的

新たな総合ビジョンの策定にあたり、市民、学生、市職員が同じテーブルで「未来の富田林」を考える機会を設け、幅広い市民の意識や、今後のまちづくりに向けた意向を把握することを目的とします。

2. 実施方法

名 称 : 未来の富田林をあなたと描く市民会議 “Mira-ton”

実施期間 : 平成 28 年 7 月 17 日 (日) ~ 8 月 21 日 (日) (全 4 回)

会 場 : 富田林市消防署 4 階講堂

検討手法 : ワークショップ形式によるグループ討議

参加対象者 :

区 分	概 要
市 民	無作為に抽出した 18 歳以上の市民 2,500 名の内、応募された方
学 生	大阪大谷大学の学生
職 員	富田林市職員

3. 実施内容

「子育て・教育」「健康・医療・福祉・多文化共生・人権」「環境・防犯防災・交通」「産業・経済・地域活性化」の 4 つの分野で班分けし、各回のグループワークを実施しました。

	開催日時	テーマ	作業内容	参加者数	
第 1 回	平成 28 年 7 月 17 日 (日) 14:00~16:00	地域の魅力と課題を集める	・オリエンテーション ・市の魅力と課題の抽出、整理	63 名	市民: 44 名 学生: 9 名 職員: 10 名
第 2 回	平成 28 年 7 月 31 日 (日) 14:00~16:00	魅力と課題から、まちの将来像を考える	・魅力と課題を踏まえ、10 年後のまちの将来像となるキャッチコピーの検討	59 名	市民: 40 名 学生: 10 名 職員: 9 名
第 3 回	平成 28 年 8 月 7 日 (日) 14:00~16:00	まちの将来像を実現するために必要な取組みアイデアを考える	・将来像実現に向けた取組みアイデアについて、「アイデア名」、取組みの「内容」、必要な「理由」の検討	53 名	市民: 33 名 学生: 9 名 職員: 11 名
第 4 回	平成 28 年 8 月 21 日 (日) 14:00~17:00	まちの将来像を実現するために必要な取組みアイデアを具体化する	・取組みアイデアの「担い手」、「アピールポイント」、「ゴール」の検討 ・取組みアイデアの発表	50 名	市民: 37 名 学生: 3 名 職員: 10 名
参加延べ人数				225 名	

Ⅱ 実施結果

1. 富田林市の魅力・課題

(1) 検討・整理のプロセス

第1回のグループワークでは、参加者個人が感じている本市の魅力・課題を出しあい、その後、グループごとに意見の整理を行いました。また、参加者の家族・知人などからも魅力・課題を集めていただくことで、より幅広い意見の集約に努めました。

(2) 主な意見

参加者から出された魅力・課題をベースに、同種の意見を集約しながら、分野ごとに本市の魅力・課題を整理しました。以下の表では、同種の意見が多かったものを中心に、主な意見を整理しています。

※分野間で共通する意見は、重複して掲載しています。

分野	魅力	課題
子育て・教育	<p>【子育て】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆子育て環境 <ul style="list-style-type: none"> ・子どもが遊ぶ所が多い ・自然が豊富で感性豊かに育つ環境がある ◆保育所・幼稚園 <ul style="list-style-type: none"> ・保育所・幼稚園の数が多い ・保育所の待機児童が少ない ◆子育て支援 <ul style="list-style-type: none"> ・子育て世代にやさしい制度が充実 ・子どもに対する手当等が充実 ・妊娠から産後まで訪問してくれる ◆学童保育 <ul style="list-style-type: none"> ・学童保育が充実 <p>【教育】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆教育施設 <ul style="list-style-type: none"> ・学校が多い、公立高校が充実 ・中学校給食がある ◆生涯学習の場 <ul style="list-style-type: none"> ・図書館や公民館等の文化施設が立派 ◆地域の協力 <ul style="list-style-type: none"> ・すこやかネットに力を入れている ・通学路の見守り隊が活動している 	<p>【子育て】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆子育て環境 <ul style="list-style-type: none"> ・子どもが遊ぶ所が少ない ・保育園の一時預かり先が少ない ◆保育所・幼稚園 <ul style="list-style-type: none"> ・公立保育園の数が減っている ・兄弟で別の保育所というケースがある ◆学童保育 <ul style="list-style-type: none"> ・学童保育の場所が狭い <p>【教育】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆教育施設 <ul style="list-style-type: none"> ・中学校、高校の選択肢が少ない ・子どもが運動する場所が少ない ◆教育現場 <ul style="list-style-type: none"> ・生きるための教育が少ない ・学力の差がある ◆生涯学習の場 <ul style="list-style-type: none"> ・図書館の設備が悪い ・大人の教養について課題が多い

分野	魅力	課題
健康・医療・福祉・多文化共生・人権	<p>【健康】</p> <p>◆健康づくりのための環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ランニングコースになる所が多い <p>【医療】</p> <p>◆病院・診療所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病院が充実 <p>【福祉】</p> <p>◆高齢者福祉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・元気な高齢者が多い ・高齢者がバス・タクシーで移動しやすい <p>【多文化共生】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国人市民の日本語学習や相談・通訳を担うとんだばやし国際交流協会がある ・ベスレヘム市との交流 ・外国にルーツを持つ子どもたちへの支援がある 	<p>【健康】</p> <p>◆健康づくりのための環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ランナー専用の施設があるとよい ・多目的グラウンドの場所が不便 <p>【医療】</p> <p>◆病院・診療所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(大型)病院、産婦人科が少ない ・駅の近くに病院がない <p>【福祉】</p> <p>◆高齢者福祉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢化が進行している ・住宅開発地域の高齢者の生活に課題 ・高齢化で車を運転できない人などへの支援が課題 <p>◆地域福祉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢化で空き家が増える ・世代間交流が薄くなってきた ・地域活動の担い手不足や人が集まる場の少なさ <p>【多文化共生】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国人がうまく地域、学校にとけこめていない ・外国人市民の声を行政サービスがすぐいあげるシステムがない

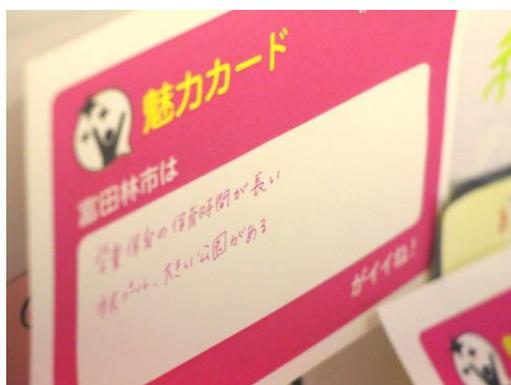
分野	魅力	課題
環境・防犯・防災・交通	<p>【環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆自然環境 <ul style="list-style-type: none"> ・自然が豊か、まちとのバランスが良い ◆景観 <ul style="list-style-type: none"> ・歴史ある町並みと現代的な町並みが融合 ◆生活環境 <ul style="list-style-type: none"> ・公園、散歩できる場所が多い ◆住環境 <ul style="list-style-type: none"> ・住みやすい、ベッドタウン <p>【防犯・防災】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆防犯 <ul style="list-style-type: none"> ・保護者、高齢者による通学路見守り隊の活動がある ◆防災 <ul style="list-style-type: none"> ・風水害や地震の被害が少ない ・防災活動が活発 <p>【交通】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆交通利便性 <ul style="list-style-type: none"> ・大阪市内までのアクセスが良い ・交通の便が良い ・近鉄・南海が市域を走っている ◆道路環境 <ul style="list-style-type: none"> ・国道 170 号、309 号が南北を貫く 	<p>【環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆自然環境 <ul style="list-style-type: none"> ・カエル、スズメ、ホタルが消えた ◆景観 <ul style="list-style-type: none"> ・景観がよくない、発展途上な所が目につく ◆生活環境 <ul style="list-style-type: none"> ・高齢化で空き家が増える ・町の中が衛生的でない、落書きが多い所がある <p>【防犯・防災】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆防犯 <ul style="list-style-type: none"> ・治安が良くない ・防犯カメラや街灯が少ない ・街路樹が視界を悪くしている ◆防災 <ul style="list-style-type: none"> ・防災の活動が見えにくい <p>【交通】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆交通利便性 <ul style="list-style-type: none"> ・交通の便が悪い、車がないと生活できない ・高齢化で車を運転できない人などへの支援が課題 ・東西を結ぶアクセスが弱い ・電車の本数が少ない ・65 歳以上の人にバス等の割引がない ◆道路環境 <ul style="list-style-type: none"> ・交通渋滞がある ・狭い道でも交通量が多く危険 ・道路環境や安全な歩道の整備が必要 ・高速道路がない

分野	魅力	課題
産業・経済・地域活性化	<p>【産業・経済】</p> <p>◆農業・農産物</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なすなどの生産が多い ・おいしい食べ物が多い <p>◆商業施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幹線道路沿いの店が増えている ・駅前に昔ながらの店が残っている <p>◆働く場所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中小企業団地がある <p>【観光】</p> <p>◆観光資源</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光資源（自然・歴史）が多い ・寺内町があり、関係行事で多くの人が集まるようになった ・寺内町に新たな店ができています <p>【地域活性化】</p> <p>◆地域の関わり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域コミュニティの活動が活発 ・学校と地域の連携が良い <p>◆イベント・行事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・P L花火、だんじりがある 	<p>【産業・経済】</p> <p>◆農業・農産物</p> <ul style="list-style-type: none"> ・休耕田が増えている ・富田林ブランドが少ない <p>◆商業施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大きな商業施設が少ない、買い物が不便 ・若者にとって魅力的な店が少ない ・駅前が寂しい <p>◆働く場所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・働く場所が少ない ・中小企業の誘致、大企業支援が弱い <p>【観光】</p> <p>◆観光資源</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光地の魅力を市外に発信していない ・周辺との協力による観光開発がない ・金剛の人は寺内町を知らない <p>【地域活性化】</p> <p>◆地域の関わり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティの希薄化や地域活動への不参加 ・地域間の交流が少ない <p>◆イベント・行事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・富田林を説明する時P L花火しかなく、富田林ならではのイベントがない
市全体に係ること	<p>【まち】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外から来た人でも地域に入りやすい ・ほど良く田舎、ほど良く便利 <p>【ひと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若い人が多く、町が元気 ・地域の人が温かい、親切な人が多い ・子どもたちが素朴 <p>【市政】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市職員の対応が親切、市と市民の距離が近い 	<p>【まち】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市の魅力がよくわからない ・東と西で状況が異なる ・田舎だと思われすぎている ・まちの中核（商店街など）がない <p>【ひと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内の一体感が少ない ・住民のマナーが良くない <p>【人口】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口減少、若者が減少している ・少子高齢化が進んでいる <p>【市政】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちのビジョンが見えにくい ・行政の情報発信が課題

(3) 魅力・課題の総括

本市の魅力としては、身近な自然環境や寺内町に代表される歴史・文化的な地域資源のほか、人の温かさ、田舎と便利さの共存など、都市部にはない「ひと」や「まち」の魅力なども挙げられています。

一方で、生活や交通の利便性、子育て・教育環境などについては、魅力・課題の両面からの意見があり、市内における地域間の意識の違いが生じていることがうかがえます。また、地域コミュニティの希薄化や地域間交流の少なさなどが課題として挙げられています。



2. 未来に向けた取組みアイデア

(1) 検討・整理のプロセス

第2回のグループワークでは、分野ごとに整理した本市の魅力・課題を踏まえ、これからのまちづくりを進めるにあたって重要だと考えられるキーワードを抽出し、それらの要素を組み合わせ、分野ごとに10年後の将来像となるキャッチコピーを設定しました。

第3回及び第4回のグループワークでは、第2回で設定した将来像の実現に向けた取組みアイデアについて、取組みの内容、必要な理由、担い手、アピールポイント（優れている点や市内外に向けてアピールする手法）、ゴール（取組みを進めることで改善されたり、良くなること）を検討しました。



(2) 取組みの方向性とアイデア

グループごとに検討した取組みアイデアについて、分野ごとに整理し、以下にその概要を示します。

【① 子育て・教育分野】

①-1 取組みの方向性（将来像キャッチコピー）

おもろいぞお～！住んでてよかった富田林

子育て・教育環境トップのまち富田林 ～世代を超えて～

①-2 取組みアイデア

はぐくめ！！生きるチカラ	
主な内容	体験重視の教育として、他人の家へのホームステイや子どもカフェ、自分の意見を主張したり、討論する機会を設けるなど、学校のカリキュラムに「生きるための教育」の時間をつくる
担い手	学校の先生その他、様々な「プロ」の市民が学校と連携する
アピールポイント	市民の意見が学校教育の場に反映され、富田林ならではの教育ができるようになる
ゴール	「やりたいこと」を持った子どもが増える

友達づくりができるまち富田林	
主な内容	子育て相談ができる場所をつくり、身近な仲間が集まれるようにするとともに、全小学校で校庭を開放し、子どもがボール遊びなどを自由にできる場所を確保する
担い手	子育て支援団体、主任児童委員などが公の手前の相談相手や、友達づくりの拠点となり、行政は公園などの場を管理する人材の育成を担う
アピールポイント	拠点において、未就園児の保護者や子ども達が楽しく過ごすことができ、利用者が SNS を通じて拡散することで、さらなる子育て環境の充実につなげる
ゴール	若者・子育て世帯の転入増加や定住促進が図られている

大人も子どももアクティブラーニング 富田林市

主な内容	「英語村」(英語だけで交流するコミュニティスペース)の開設や人材バンクによる能力の高い市民の確保など、教育施設・制度を充実させ、能動的に学べる人材を育成する
担い手	民間企業(TSUTAYA、スターバックスなど)が教育の場を提供し、大学や英会話塾が場の運営に協力するとともに図書館などとも連携する
アピールポイント	空きスペースを活用しながら「強み」を持つ子どもや地域住民を増やすことで、「教育」への安心感(信頼感)が高まる
ゴール	世界で活躍できる人材があふれるまちになる

フリースタイルライブラリー ～みんなの図書館～

主な内容	図書館、相談室、映画上映、カフェ、フリースペース等、各世代が行きたくなる機能を持った、子育て・教育の拠点となる全世代向けのフリースタイルライブラリーをつくる
担い手	民間企業、すこやかネットの他、意見調整役を行政が担う
アピールポイント	すべての市民の希望を反映させた「場づくり」を行い、交流により情報を共有する
ゴール	子育て世代が住んで良かったと思えるまちになる

①-3 総括

子育て、教育、生涯学習に関する交流や学びの場づくり、機会づくりについての取り組みアイデアが出されています。これらの場、機会においては、様々な機能を持たせることで、幅広い層の人が集まり、世代間の交流が生まれるなどの効果も期待されています。さらに、利用者(参加者)が能動的に動くことも必要であるという意見も出されています。

取り組みの担い手としては、民間企業や団体、地域住民が主体的に取り組み、学校や行政は人材育成や調整などを担うといった意見が出されています。

取り組みのアピールポイントやゴールとしては、市民の意見や希望をまちづくりに反映し、子育て・教育環境を向上することで、子育て世代を中心とした若者を呼び込み、定住促進につなげるといった意見や、教育を通じて世代を問わず、活躍できる人材を育むことができるといった意見が出されています。

【②健康・医療・福祉・多文化共生・人権分野】

②-1 取組みの方向性（将来像キャッチコピー）

全ての世代が緑の中で笑顔あふれる街

みんなが弱い所を理解し、支え合える健康で笑顔があふれる町

②-2 取組みアイデア

見つけよう！私の生き方。ひろげよう！みんなへ。

主な内容	自然の場を使ったスポーツイベントや体操の普及等、健康づくりの取組みを進めるとともに、伝統的な学びなどを高齢者から若者に教えることで、高齢者の生きがいづくりや若者の地域への愛着につなげる
担い手	町内会、自治会、子ども会などと高齢者や若者が自ら行っていく
アピールポイント	地域の自立や女性の活躍につながる。また、市民にアンケートを取ったり、イベントや健康づくりの取組みを知ってもらう
ゴール	地域内の交流が活発になり、若者が自分の住んでいる地域に誇り・愛着を持つ

健康は、市民ひとりひとりの宝物

主な内容	医療機関の充実や健康に関する情報発信に取り組むとともに、世代別の健康づくりプロジェクトや、ウォーキング・ランニング・サイクリングコースの整備、「富田林版サスケ」のようなスポーツ交流イベントを開催し、市民にあった健康づくりを支援する
担い手	地域が場づくりを行い、行政は公的サービスを提供するのみ
アピールポイント	富田林に住んでいるだけで、肉体年齢がマイナス10歳でいられる
ゴール	市民が家でじっとしているのがもったいないと感じられるようになり、自由に活動し、笑顔で暮らせる

Team おせっかい	
主な内容	すべての市民が情報交換や交流できる場を地域につくり、孤立を防ぐなど、地域のつながりの強化を図るとともに、近所の人やボランティアにより、外に出ない人の孤立防止を図る
担い手	見守りをするボランティア（性別、年代、障がいの有無などを問わない）と、見守られる側でもあり、見守る側でもある市民が協力しあう
アピールポイント	地域における孤立を防ぐとともに、コミュニティの活性化、地域の情報交換の強化が図られる
ゴール	隣近所同士で暮らしの様子を把握している地域になる

よびさませ！地域力！！	
主な内容	世代間の交流により、地域コミュニティの再構築を行い、地域力の向上を図る
担い手	自治会や企画好きな人など、地域で動き、良い意味で行政はいらぬ
アピールポイント	世代間交流がスムーズに行われ、自主的に取組める地域になれる
ゴール	参加の敷居が低いイベントや祭りの開催により、集まれる居場所を作るなど、地域コミュニティの活性により孤独死などを防ぐ

②-3 総括

情報の発信や共有、イベントなどを通じ、地域内の関係を密にし、支援を必要とする人を支えることができる地域を構築していく取組みのアイデアが出されています。また、スポーツや健康づくりなど、参加しやすいテーマを設定することで、地域コミュニティへの参加のきっかけをつくることが期待されています。

取組みの担い手としては、行政主体ではなく、市民やボランティア、町内会・自治会などのコミュニティ組織が主体的に取り組んでいくことを基本とする意見が多くなっています。

取組みのアピールポイントやゴールとしては、地域内の交流が活発になることで、コミュニティの活性化や地域における安心感の醸成につながり、自発的に取組む市民を育成することができるといった意見が出されています。

【③環境・防犯防災・交通分野】

③-1 取組みの方向性（将来像キャッチコピー）

“集い”人と自然がまとまる町

伝統にも住みやすさにも富んだまち 富田林

③-2 取組みアイデア

防犯・防災につながるにぎわいの創出	
主な内容	富田林市の基本情報や特産品のPR、自然風景のフォトコンテストの実施や広報誌への掲載、“Mira-ton”を継続して行うなどして、市民同士のつながりを深め、市民の中から防災の知識を学んだ防災リーダーが誕生するよう人材の育成・活用を行う
担い手	市民が声をあげ、市はその声を行政活動に反映する
アピールポイント	市民同士のつながりを構築しながら、市外には「良い環境のまち」という富田林のプラスイメージを発信し、まちの安心につなげる
ゴール	市の情報が行きわたり、地域と行政のパイプができ、市内には市民の目がいつもある
安心・安全を守る市民の瞳プロジェクト	
主な内容	普段も緊急時も使える情報通信システムの構築や安全な道路環境、防犯カメラ、防犯灯の設置、市民が道路の問題を報告・共有できるアプリを開発し、市民と行政が協力して道路環境を守る
担い手	行政と市民（行政と市民との協議体で協議する）
アピールポイント	女性や子ども、若い世代、高齢者など、全市民がアプリ等での情報発信により、「安心」に関わる分野の行政に参加できる
ゴール	市民の命が守られ、まちを誇りに思うことができる
まちづくりするための環境整備	
主な内容	ショッピングモールの誘致や駅前の高層マンション建設、駐車場の無料化、遊歩道整備等によって、富田林市を「中継地点」から「目的地」にする手立てをうつ
担い手	市が場・仕組みを整備し、市民や企業が整備されたものを活用する
アピールポイント	子どもから高齢者まで、市民からの意見を取り入れた整備により、人が集まるまちづくりを進められる
ゴール	移り住みたい、住み続けたいと思える、完結できるまちになる

温故知新プロジェクト	
主な内容	寺内町等の市の伝統を学びつつ、商業サービスの維持やWi-Fiの充実など、現在の生活も豊かにすることに活かし、よりよい生活環境を構築する
担い手	自治会・子ども会が交流の場となりながら、市民が自発的に生活向上のために動き、行政は駐車場の整備などを行う
アピールポイント	市のホームページやSNS等による発信により現在行われていることを知ってもらい、自治会活動なども通じて、まちづくりに参加する機会を増やす
ゴール	まちの過去を知る市民、富田林の未来を考える市民が増え、住んでよかったと思えるまちになるとともに、東と西の交流も盛んになる

③-3 総括

交通インフラの改善や商業施設などのハード整備の必要性和合わせ、SNSやアプリなどを通じ、特に若い世代のまちづくりへの参加を促す取組みや、寺内町に代表される歴史や伝統を現在のまちづくりに活かしていく意見が出されています。

取組みの担い手としては、ハードや条件の整備を行政が市民の声を取り入れながら行ない、その活用を市民参加により進めていくことが期待されています。

取組みのアピールポイントやゴールとしては、まちづくりに関する情報が地域で共有され、市民参加を促進することで、まちへの愛着の醸成を図ることができるといった意見が出されています。

【④産業・経済・地域活性化分野】

④-1 取組みの方向性（将来像キャッチコピー）

人と緑が会おうまち 粋活きぶっ富田林 ~ザ・田舎シティ~

富田林ではじめよう ~START UP CITY 富田林~

④-2 取組みアイデア

ぶっ富んだプラン	
主な内容	「ぶっとんだ」をキーワードにイベント開催や市のキャラクター展開を行うとともに、すだれ等の特産品を使ったブランド開発などを行う
担い手	農業者や事業者がブランドのメニュー開発、商店街などが販売、市民は情報発信、行政がPRやコーディネートを行う
アピールポイント	富田林の名物（ブランド）が生まれ、話題となる
ゴール	富田林の認知度が向上することで観光客が増え、地域が儲かるとともに、富田林が南河内地域の中心地となる

田舎シティ推進計画	
主な内容	富田林市の農業や自然などの魅力を伝えられるよう、サバーファームをリニューアルし、グリーンツーリズムやウィークエンド移住を企画する
担い手	空き家の所有者は家の貸出しを行い、行政は旅行・不動産会社やサバーファームをコーディネートする
アピールポイント	田舎に移住したいけど、ソフトな田舎がいい人に響く
ゴール	地域の活性化により、交流人口が増加し、定住人口の増加につながる

愛着すりこみ選上計画 帰巢本能促進計画	
主な内容	若い市民に市のイベントに強制的に出演してもらい、ご当地アイドル総選挙を行うなど、みんながシティセールスプランナーになる
担い手	10代の市民に参加を促し、子ども・若者は友達と誘い合う
アピールポイント	子どもや若者に地域を知ってもらい、愛着を高めることで、人が出ていくことを防ぐ
ゴール	若い人が住み続けることで地域に活気がでる

いいまち「富田林」を発信！！

主な内容	市や市のキャラクターによる SNS を通じた発信をさらに活発にし、野外イベントや景観などをアピールすることで「訪れたいまち」から「住みたいまち」にしていく
担い手	市民がイベントを主導し、一芸に秀でたプロ市民の育成につなげる
アピールポイント	市外の人が来るきっかけづくり、外国人への発信、地域人材の活用が図られる
ゴール	10～20代はまちのにぎわいを発信し、60代以上は伝統行事や文化行事を孫世代に伝える

インキュベーター富田林

主な内容	市所有物件や市内の空き部屋の活用、託児所や送迎バスなどが整備されたワーキングスペース、大学と連携した格安賃貸オフィスなど、起業家が集まる環境をつくる
担い手	保育・交通・商業施設などが運営、大阪府と富田林市は助成金などにより取組みを支援する
アピールポイント	起業しやすい、働きやすい環境が整備される
ゴール	働く場所の増加が人口増、税収増、さらなる企業誘致につながる好循環を生む

学生ざわざわ大作戦♡

主な内容	富田林駅の東側や大阪大谷大学への通学路、滝谷不動駅前を整備し、「学生街」としての雰囲気づくりとともに、若者が魅力を感じる商業施設の整備や空き店舗を活用した創業体験等に取り組む
担い手	学校、空き店舗の大家、地域の飲食店など、学生に関わる主体が連携する
アピールポイント	若者の声を取り入れた店づくりや学生ベンチャー支援、歩道・車道分離や景観の整備などを進めることができ、情報発信力の高い学生から効果的な情報拡散も期待できる
ゴール	地域の活性化が図られ、『人』と『金』が集まる！

BACK TO THE 1500

主な内容	西暦 1500 年代からの歴史を活かし、市外や国外に市の魅力を紹介するとともに、広域的な観光振興を強化する
担い手	魅力紹介は近隣の市町と連携して担い、町会・青年団にはだんじりを PR してもらう
アピールポイント	TV・CM・ネット動画等による情報発信を強化する
ゴール	広域連携によって地域が活性化し、外国人も含めた観光客が増加する

④-3 総括

本市の歴史、自然環境、特産品、企業・大学といった地域資源を活かし、学生など若い人たちを巻き込みながら、魅力の発信や地域の活性化を図る意見が出されています。

取組みの担い手としては、市民や大学生が SNS などを通じてプロモーションの担い手となったり、企業などの活動を行政がコーディネートするといった役割分担が期待されています。

取組みのアピールポイントやゴールとしては、既存の地域資源の魅力をブラッシュアップしたり、若者の視点を取り入れたまちづくりを進めた上で、市の魅力発信を強化することで、仕事の増加と人の増加の好循環を生み出し、地域の活力を高めていくといった意見が出されています。

(3) 未来に向けた取組みアイデアの総括

若い世代が暮らしやすい地域づくりに向けた取組みに関する意見が多くなっているとともに、地域間、世代間など、様々な交流を生み出す仕組みづくりが必要とされていることがうかがえます。

地域における担い手の高齢化・人材不足や、地域コミュニティの希薄化など、地域が抱えている課題解決の方向性として、まちづくりを行政だけに委ねるのではなく、市民をはじめ、団体・企業など、様々な主体が連携しながら進めていくことが重視されていると考えられます。

こうした傾向は、取組みの担い手に関する意見にも現れており、活動の主体は市民や民間とし、行政はその側面的支援や条件整備といった役割分担による提案が多くなっています。

市民が主体的にまちづくりに参加していくためにも、“Mira-ton”のような、誰もが気軽に参加できるきっかけの場の創出を求める意見もあり、様々な情報発信・交流など、SNSなども活用しながら、市民とともに築く双方向の情報共有の仕組みが必要とされています。



